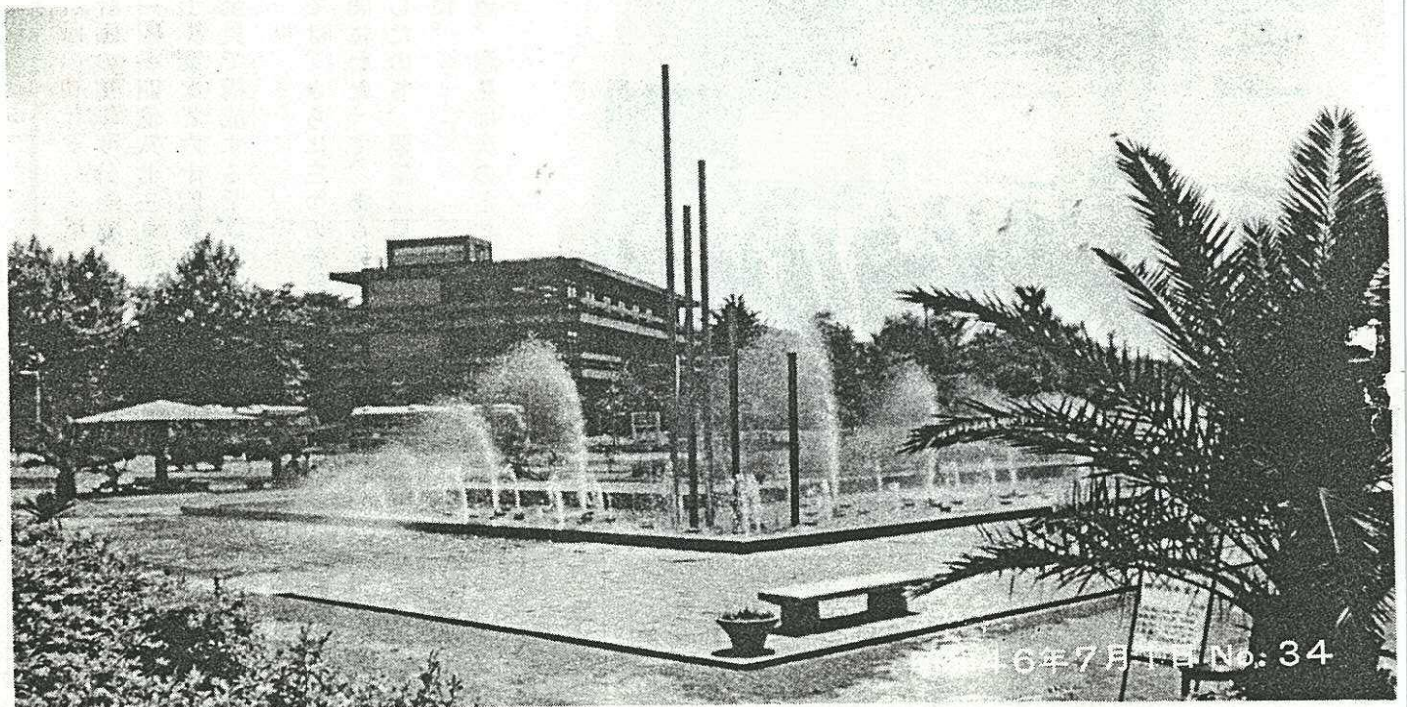


市議会だより

北九州市議会事務局



浅生第一公園(戸畑区)

5月臨時会

5月29日から15日間の会期で開かれ、6月12日に終わりました。

審議された議案は、46年度予算をはじめ、条例の一部改正案ならびに議員提案による委員会条例の一部改正案など67件と、公有水面埋立諮問1件です。

このうち、46年度土地区画整理特別会計補正暫定予算案および諮問は建設交通委員会で、46年度一般会計予算案など64件は予算特別委員会でそれぞれ慎重に審議されたのち、いずれも原案のとおり承認されました。

また、委員会条例の一部改正案および市長等に対する退職手当加算金についての2件は、ただちに採決され、条例の一部改正案は原案のとおり承認されましたが、市長等の退職加算金については、一部を除いて承認されました。

なお、去る4月30日から開かれた4月臨時会で、議会人事および助役、収入役の選任などが行なわれました。



増田副議長



松尾議長

わたくしどもは、四月臨時会の市議会役員選挙において、はからずも議長、副議長の重責をになうことになりました。北九州市もいよいよ今年度から百万都市にふさわしい本格的な町づくりのための中期計画が実施されます。この時期にあたり、わたくしどもは使命の重大さを痛感するとともに、今後とも公正な市議会の運営につとめ、市民の代表としての任務をまっとうしたい所存です。なにとぞ、市民のみなさんの深いご理解とご協力を賜われますよう心からお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

ごあいさつ

北九州市議会議長 松尾 武
副議長 増田 哲夫

予算を可決



本市中期計画の初年度分を盛り込んだ四十六年度予算は、総額一四一四億八七三九万円と決まりました。これらの予算案など六十四議案をくわしく審議するため、議員全員で構成する予算特別委員会を設置しました。

同委員会では、さらに三つの分科会に分け、六月五日から六日間にわたって、あらゆる角度から審議し、論議をつくしたのち、要望意見を付けて原案のとおり承認しました。

おもな要望、意見は次のとおりです。

施設の改善をはかれ

横断歩道橋

横断歩道橋の建設が各所で進められているが、構造上、市民の利用に不十分な面もあるので、建設にあたっては、十分な調査研究を行ない、多数の市民が利用されるよう施設の改善を図り、美観についても検討すること。

また、四つかど等の交通安全対策も十分配慮すること。

入院患者に

手厚い措置を

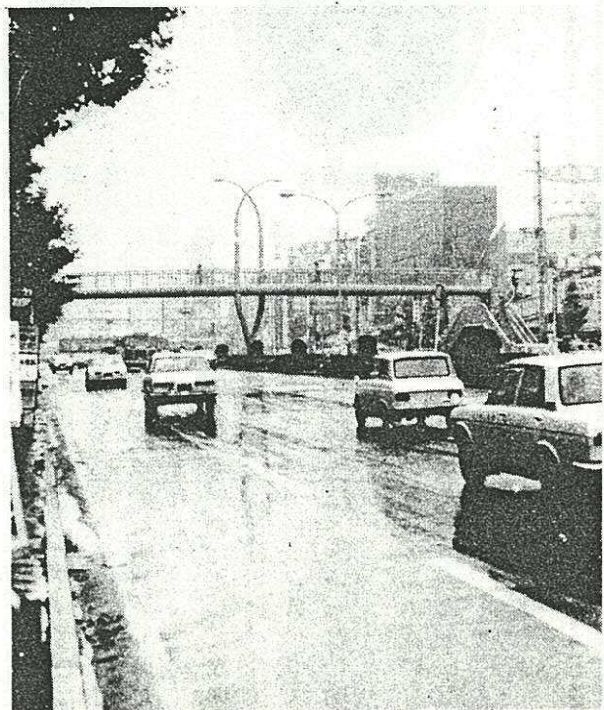
第二松寿園の閉鎖にともなう患者の移送にあたっては、主治医や看護婦の協力を得て、事故の防止に万全を期し、また、入院患者に対しては手厚い措置を講じること。

円滑な行政をはかれ

建築審査

最近の無秩序な住宅建設は、防災、防火、道路認定や、水道管の布設、清掃など、市行政の実施の面でいろいろ問題となっている。

これは、住宅建築許可が書面審査によることと、関係各局間の連絡が不十分であるのが原因と思われるので、早急に関係局の連絡を図り、この問題に対処すること。



横断歩道橋

通勤通学道路の

整備を早急に

小倉区の南部や、八幡区の西南部地域などは、急激な宅地開発により住宅建設が著しいが、これらの地域と市街地に通じる道路の整備が十分でないため、交通渋滞を起す等、住民の通勤、通学に不便となっているので、これら道路の整備について、早急に対策をたてること。

文書配布に

十分な指導を

市から住民へ配布される、文書等については、町内会未加入者であっても配布するという契約の趣

旨にそい、十分な指導を行なうこと。

光化学スモッグの

防止対策をたてよ

光化学スモッグ対策の一環として、昨年、オキシダント測定装置を二基設置しているが、今日の自動車の激増あるいは本市の地形を考えると、この発生の危険性も予測されるので、早急に具体的な防止対策をたてること。

また、四十八年度までに、いわゆる酸化物にかかる環境基準を達成するよう公害防止協定の年度内締結に努力しているが、企業の協定遵守の確認方法がないため、その実効性を判断することができないしたが、企業に対して、

一般会計	744億296万円
普通特別会計(20会計)	476億7860万円
企業会計	
上水道事業	117億4627万円
工業用水道事業	19億9788万円
交通事業	11億1166万円
病院事業	45億5002万円

昭和46年度

総額1414億8739万円

おもな事業

社会計画

1万人保育の推進、老人医療費の無料化、心身障害児者福祉センターの建設、小倉南養護学校の新設、勤労者会館の建設、公害対策の強化、新中央卸売市場の建設、ポリ袋の無料配布など

文教計画

小中学校3校新設、総合体育館の建設、少年自然の家建設など

建設計画

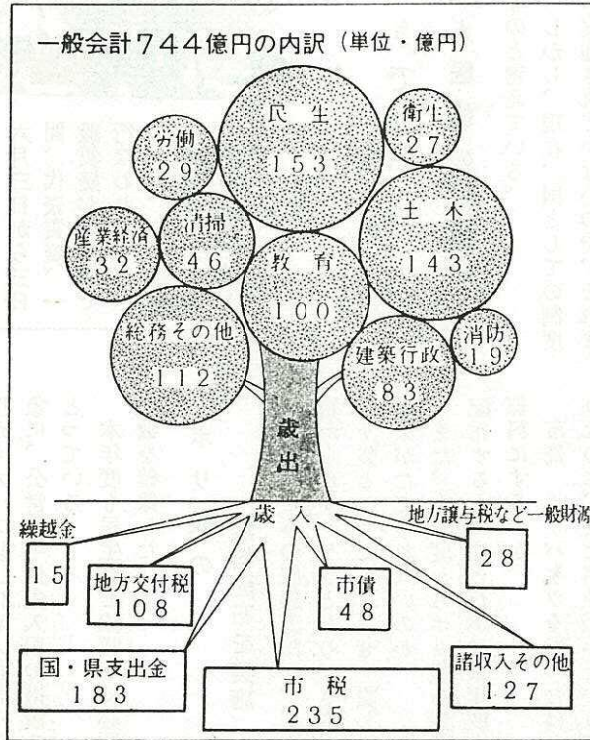
公営住宅2,000戸建設、藍島に簡易水道新設など

交通輸送計画

町づくり道路100%舗装、立体駐車場の建設など

産業計画

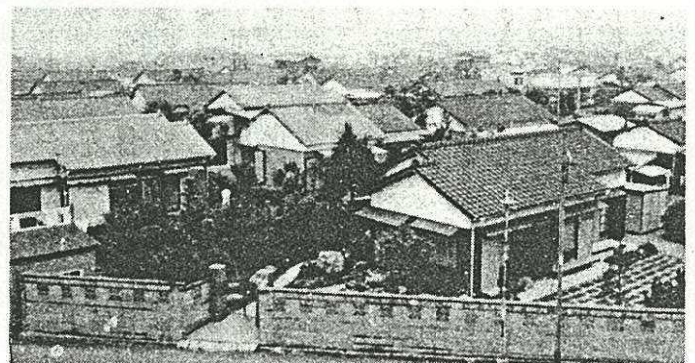
総合農事センターの建設、中小企業の育成強化など



持家対策の推進をはかれ

本市の住宅事情はまだ十分でなく、一人一室の目標を達成するには、公営住宅の建設と同時に、個人の住宅建設が望まれる。

しかしながら、建築資材の値上がり等により、自力建設が困難となっているので、現行の住宅建設融資資金制度について、貸付対象範囲の拡大や、貸付条件を検討し、持家政策の推進を図ること。



新興住宅街

総合農事センターの早期完成を

本年度から、建設される予定の総合農事センターは、本市農業の体質改善の中核機関として、その活動が期待されるので、早期完成にととめること。

収入基準の改正を

市営住宅入居のための収入基準については、現状に合わない面もあるため、この改正について、早急に国に働きかけるなどの努力をすること。

スクールバスの運行を検討せよ

養護学校

小倉南養護学校と八幡養護学校は、通学そのものが教育訓練といふことで、スクールバスが運行されていない。

しかし、交通事情や、送迎する父兄の苦勞など、児童生徒の実態を考慮して、バス運行について検討すること。

文化施設は

各地域にも

本市の文化施設は年々整備されており、また、中期計画でも各種の大規模な施設が計画されているが、各地区にもそれぞれの特性を生かした施設を計画し、全市民がその恩恵に浴するよう特に配慮すること。

放送設備の

整備を早急に

小中学校

放送設備が故障している小中学校については、早急に整備を行うこと。

また、教室の暖房設備についても、今後の課題として調査検討すること。



質疑応答

六月三日から三日間、代表質疑、一般質疑が本会議で行なわれました。以下、市民生活に関係の深いものをとりあげました。

70才以上全員を

対象にすべきでないか

老人医療の無料化

議員 ①本年度から七十才以上の老人で、国民健康保険加入者のうち、老齢福祉年金受給者に対し医療費を無料にすることだが、七十才以上の老人全員を対象にする考えはないか。

また、実際には「窓口払い」(対象者が医師にかかる場合、本人が負担し、あとで市から償還してもらうこと)となるそうだが、このような本人負担の手続きをとることなく、直接、医師が料金を市に請求することにしているどうか。

②中期計画の中で、老人世帯のための住宅確保があげられていないが本年度予算には計上されていない。

そこで、本年度の公営住宅二十戸建設の一部を老人住宅として確保してはどうか。

市長 ①本来的には国が社会保障の一つの政策として実施すべき

ものと考えている。

しかし、現在、国としての制度が実施されていないので、それまでの「つなぎ」という意味で、本年度から市において実施することにしたものである。

対象者は、財源の関係あるいは他の福祉行政とのバランスも考えて、国民健康保険の加入者で老齢福祉年金受給者とした。

また、当初「窓口払い」と考えていたが、この制度が喜ばれるためには、現金がなくても医師にかかれるようにしたほうがよいと思われ、その方向で医師会と相談している。

建築局長 四十二年

度から六十才以上の老人世帯を対象に、公営住宅優先入居の措置をとっている。

本年度も民生局と協議して必要戸数を確保したい。

ポリ袋の

無料配布を実施

議員 ごみの収集方法が、ごみ箱からポリバケツとなり、さらにポリ袋となったが、なぜ一貫した施策がたてられないのか。

また、本年度からポリ袋を無料配布することだが、来年度も無料にするのか。

市長 ポリバケツを買ったばかりなのに、またポリ袋かというこ

とだが、ポリ袋方式はポリバケツが全く無意味になるわけではない。

ポリ袋だけではごみが入れにくいので、ポリバケツの中に袋を広げて使用することを指導していきたい。

また、ポリ袋の無料配布は来年度も続けたい。

被爆者に

あたたかい施策を

議員 市内には、原爆被害者が約千五百人いるといわれているが、これらの人に対する市の施策は、北九州市原爆被害者の会に補助金を出しているだけである。市はもっとあたたかい手をさしのべるべきだと思う。

市長 被爆者の会で、生活相談所的なものを建設するといったそうだが、いつ着工するのか。

市長 被爆者の会の活動を援助することが市の仕事だと思っており、年々補助金の増額につとめてきている。

また、被爆者の会で話したのは、被爆者のかたから、会員のための相談業務等をするため、事務所を設けてほしいとの要望があったので、総合福祉会館建設のときに事務所を提供するということが了承されたものと判断している。

なお、総合福祉会館建設の時期は、新庁舎に移転した跡地の利用計画のなかで議会とも相談して決

めたい。

零細企業の育成を

議員 零細企業者向けの無担保無保証人少額融資制度については、他の政令指定市の例をみると、今年度から貸出限度額も百万円に引き上げられ、貸出件数も大幅に増加している。

しかしながら、本市では、貸出限度額は五十万円、四十五年度の貸出件数もわずか三十三件と少ない。

この際、貸出限度額を引き上げ、貸出条件を緩和して、零細企業の育成を図る考えはないか。

市長 このたび、法律が改正されたので、最高限度額を八十万円にすることで手続をしている。

これまで実績が低いのは、都市の事情にもよるが、貸出条件に合致するものが少ないことに原因がある。

運動場解放校の

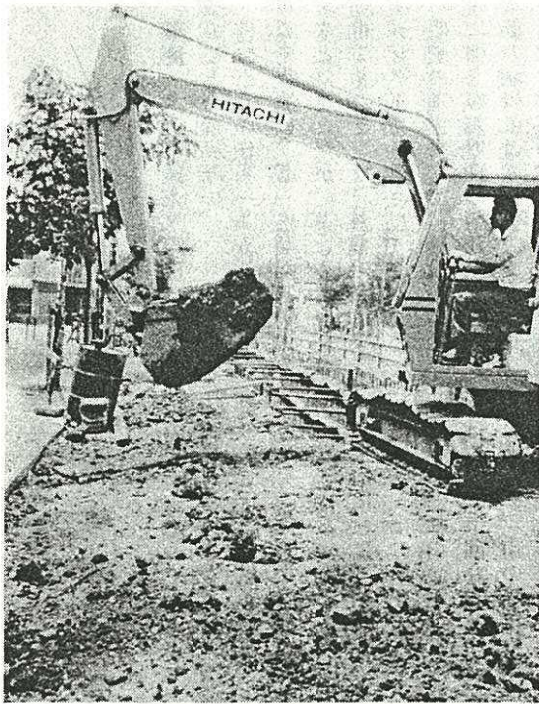
管理体制を充実せよ

議員 市民のスポーツに対する関心が高まり、小中学校の解放が望まれてきているなかで、本年度運動場三十校、体育館では十二校が市民に利用されることになった。

しかし最近、小倉の霧ヶ丘小学校で幼児がプールに転落するという事故なども発生している。今後、解放校についてどん



ポリ袋によるごみ収集



進む下水道工事

な管理体制を考えているのか。また、学校内での事故について責任の所在を明らかにしてほしい。

教育長 都市部における学校の解放は、市民から好評を得ており、今後も積極的に数をふやしていきたい。

問題となっている管理体制については、いろいろな事故が起こらないよう一定の施設の整備が必要であり、また、こどもたちをスポーッグループごとに集めて行なうことが、事故を未然に防ぐ方法ではないかと思う。

また、それぞれ学校単位で体育指導員を配置し、指導にあたっているが、かりに事故が起こった場合でも事故の原因を調べるのが先であり、責任問題はその後ではないかと思う。

水洗便所の普及をはかれ

議員 下水道の受益者負担金は、区によって単価が違っているが、全市的な下水道という立場から、計画年次別に単価を設けてはどうか。

また、水洗化については下水道法の改正で、三年以内に自己負担で排水管を取り付けることが義務づけられているのに、四十パーセントにも満たない現状である。今後どのような方法で普及にたるとる考えか。

市長 今までの下水道の受益者負担金制度では、排水区ごとに算出方法を決め、地区によって単価が違っていたが、本年度から始まる第三次下水道の実施計画では、

計画年次別に統一した負担金の算出をするよう作業を進めている。

また水洗化の普及については、本市の特殊事情として社宅、借家などが多く、入居者が希望しても家主が反対するというところもあって、水洗化が思うようにはかどっていない。

そこで、市では水洗化促進本部を設け、強力な体制をとっているが、なおいっそう企業、その他の家主にも呼びかけ水洗化の促進を図り、きれいな町づくりにつとめたい。

本年も韓国・沖繩へ

青年の船

議員 本年度も実施される予定の「青年の船」の訪問国が、昨年同様、韓国・沖繩とのことだが、東南アジアなどに派遣する考えはないか。

また、職域団体、青少年団体などから選ぶという人選方法では、資格が制限されるので、もっと自由に希望者を募り、抽選することにしてはどうか。

市長 青少年が研修生として、広く海外を見ることに、なにも訪問国を限定するわけではない。しかし、あまり遠距離になると

日数がかさみ、中小企業従業員参加が制約されることになる。

ことは、昨年より一日延ばしたが、この程度の日程が限度ではないかと思っている。

教育長 「青年の船」の実施目的は観光ではなく、あくまで地域あるいは職域で青少年活動を行なっている人に、研修の機会を与えるということである。

昨年の例をみると、参加者二百人中、百業種に近い勤労青少年が選ばれており、バラエティに富んだ適切な人選であったと思っている。

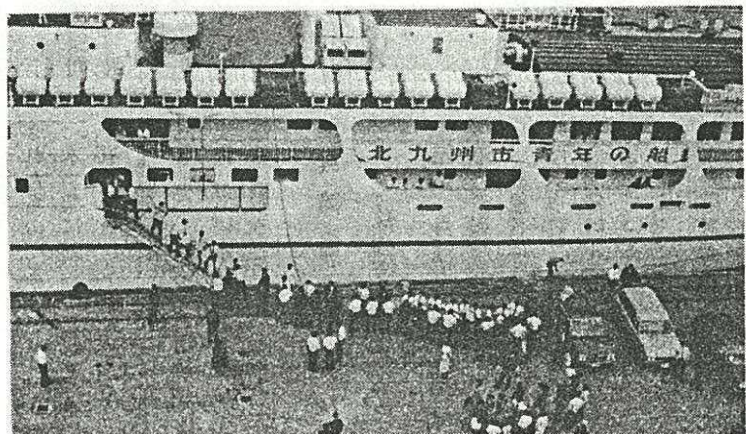
基準をゆるめる

考えはないか

市道認定

議員 最近、近郊地域は急速に発展しており、特に私道の重要性がクローズアップされている。

私道のなかでも公共性をもったものが多く、このような道路については市道に認定すべきであると思われ、この際、市道認定基準「特に認めるとき」の規定を適用して認定するか、基準そのも



出航前の青年の船 (昨年度)

市長 現状では、道路の舗装率は伸びてきたが、農村部や新興住宅地の道路が問題となっている。

市道認定基準のなかの「特に認めるとき」とは、通学道路のような非常に公共性の高い道路に限定しているため、あまり基準を広げるわけにはいかないが、今後、市道全体の舗装率が向上するに従い、できるだけ認定基準を弾力的に運用する工夫をしなければならぬと思っている。また、基準がきびしいという市民の声は十分参りしやくしていきたい。

結核医療体制を確立せよ

松寿園問題

議員 本市の結核対策について次のことを伺いたい。

①ことしの十月一日から第二松寿園を閉鎖し、第一松寿園に統合するとのことだが、あまりにも一方的なものとして、患者、職員などが反対運動を起こしている。閉鎖の理由として、施設の老朽化に伴う病院管理の困難性と、患者数の減少による経営収支の悪化をあげているが、市民の健康や生活に責任のある自治体として、多

少の赤字があっても充実した医療体制をとるべきであり、閉鎖などすべきでないと思うがどうか。また、近代的な療養施設を建設する考えはないか。

②本市における結核の市民検診の実施状況は二十一・六パーセントで、全国平均の四十パーセントをはるかに下回っている。いったい、市の結核対策はどうなっているのか。

市長 ①経営の赤字も一つの理由だが、現在および



閉鎖になる第二松寿園

将来の患者を含めた結核の治療という大局の見地にたつて、この方針を打ち出したものである。

また、病院局で考えている胸部疾患センター的な新施設については、現在、病院事業が財政再建中であり、もう少し時期をみたいと思っ

ている。

衛生局長 ②結核

対策は、(1)法に基づく市民の健康診断の実施(2)未感染者に対するBCG予防接種の徹底(3)患者の登録

管理の徹底(4)感染者の入所令措置の四本の柱で、その成果をあげるよう努力している。

また、市民検診率の向上についても、今後十分努力していきたい

なお、検診の精密化を図るため、昨年からミラーカメラを導入しているが、今年度も引き続き更新していきたいと思っ

新市場建設に伴う

流通機構の整備を急げ

議員 本市における消費者物価

指数は、他の五大市に比べ上昇率が高く、なかでも生鮮食料品の上昇が特に著しい。

その原因の一つは、生鮮食料品の流通機構が整備されてないためと思われる。

今年度、新中央卸売市場の建設用地確保のため、十八億円の予算が組まれているが、今後、新市場の整備計画など具体的にどう考えているか。

市長 四十九年度開設をめどとし、本年度は日明の埋立地に二十万平方メートルの敷地を確保することにした。

なお、流通機構等の問題は業界

と意見交換しながら、新市場の建設によって、本市の生鮮食料品の確保と物価の安定に、最大の効果をあげるよう検討を続けていきたい。

中国貿易の

拡大につとめよ

議員 最近、中国問題は国際外交の焦点となっており、わが国の対中国政策にも微妙な変化をもたらしつつある。

このような情勢のなかで、中国大陸に近い位置にあり、また、かつて大陸貿易の拠点として栄えた本市にとっては、貿易振興の見地から積極的に取り組む必要があるのではないか。

この際、市長の中国貿易に対する考え方を伺いたい。

市長 これまで政経分離の原則にたつ政府の方針のわく内で、西日本国際貿易促進会に対する助成あるいは見本市の開催のための補助など、貿易の拡大につとめてきた。

今後とも、中期計画でうたっている貿易の拡大のなかで、対中国貿易にも積極的に取り組んでいく考えである。

ほ場整備の

必要性はあるか

曾根中央土地改良区

議員 農業の近代化を図るため

四十二年度から五か年計画で実施されている小倉区・曾根中央土地改良区に關連して伺いたい。

①地元から事業中止についての陳情書を提出したのに、市はどうして受理しなかったのか。

②ほ場整備の必要性はあるのか。

経済局長 市は、土地改良区からの受託工事として実施しているものであり、事業主体はあくまで土地改良区である。

したがって、市が事業に対する決定権を持つ立場ではないので、陳情者に事情を説明した。

②最近の米の減反政策により、米作りを対象としたほ場整備の必要性は、多少薄くなった感はあるが、畑作も可能なほ場として計画されたものである。

本事業に対し、これまで市も二十五パーセントというかなり多額の補助を行ない、さらに昨年からは十パーセントの補助を付けて実施しているものであり、事業の価値はあると思う。

身障者の

社会復帰をはかれ

議員 身障者の社会復帰は、身体障害者雇用促進法があるとはいえ、対象者はきわめて軽度の人たちに限られ、その他の多くの人の社会復帰は非常にむずかしい現状となっている。

この際、市の施策として、大規模な身障者企業授産所をつくり、これらの人に生活の道を開く、

請願と陳情

請願

一採択されたもの一

- 溝蓋設置について（門司区清滝町5）
- 入院助産の病院指定について
- 第三ひまわり学園（門司区内）設置について
- 市立門司乳児保育所遊び場設置について
- 下水溝の清掃について（門司区花山通1）
- 血液確保について
- 道路拡幅について（門司区畑～恒見間）
- 歩道橋設置について（門司区丸山町）
- 道路舗装について（小倉区山路大平町）
- 蛤川しゅんせつについて（小倉区）
- 土砂崩壊防止について（小倉区潤崎団地）
- ガードレール設置について（門司区緑町）
- 道路柵の設置について（門司区田野浦沙見ヶ丘）
- 児童公園設置について（戸畑区高峯町2）
- 上津役中学校移転後の跡地等活用について
- 上津役公民館移転について
- 小森江東小学校屋内体育館兼講堂新築について
- 養護教諭の配置について

陳情

一採択されたもの一

- 高坊派出所の移転について（小倉区）
- 白百合保育所設備改善について（小倉区）
- 勤労者会館設置について
- 交通安全注意標識設置について（小倉区到津新町）
- 道路舗装について（小倉区井手浦、熊谷町）
- 公園設置に伴う水利権問題について（八幡区本城）
- 市道認定について（小倉区小山町）
- ガードレール設置について（若松区岬の山公園）
- 公園内手洗設置について（若松区岬の山公園）
- 水銀灯設置について（若松区岬の山公園）
- 駐車場設置について（八幡区中央町）
- 不要汚水処理槽の撤去について（八幡区黒崎町）
- 児童公園設置について2件（門司区門司製作所跡地）
- 篠崎中学校舎改築について
- 企救中学校舎全面改築について

一不採択になったもの一

- 住居表示の街区方式の特例採用について
- 教職員に対する処分撤回等について

べきと思うがどうか。

市長 これまで玄海授産所とか、企業授産所に対しても、市としては手をさしのべ、また、身障者の技能習得に対する補助を拡大しその効果をあげている。

現在のところ、大規模な授産所設置の計画はない。
今後、公共職業安定機関とも連絡をとり、身障者の社会復帰に努力していきたい。

山田弾薬庫の

全面返還をはかれ

議員 山田弾薬庫の部分的返還が発表されたが、公害に悩む本市にとって全面返還に寄せる期待は大いにある。
いったい、市長は防衛庁との話

し合いにあたって、どのような考え方でのぞむのか。

また、地元代表者などを含めた全面返還対策協議会を早急に発足させてはどうか。

市長 二十五パーセント返還という防衛庁の考えもあるが、全面返還ということで議会ともども要請している。

今後、あらゆる情勢を判断し、市民の代表である議会と意見を交換しながらこの問題を有利に解決したい。

なお、全面返還対策協議会を設ける考えはない。

公共駐車場の

整備を促進せよ

議員 市街地の交通体系を乱している要因の一つとして、路上駐

車が増えらるるが、これは私営の駐車場料金が高いこともかなり影響していると思う。

この際、市有あき地、公共施設の立体利用など、それぞれ地域の实情に合わせて、料金の安い駐車場を数多く造るべきではないか。

市長 公共駐車場は、市街地再開発や公共のあき地ならびに高速道路のけた下利用などにより建設していきたい。

駐車場料金は、私営に比べ安くすることは当然だが、あまりバランスをくずすと私営を圧迫することになる。

もともと、過密化した都市での自動車の使用はどうしてもコストが高くなるのが当然であり、ある程度の負担はやむを得ない。

また、駐車場をすべて公共のもの



公共駐車場

のとすることに問題があり、やはり私営と公共と並列して整備を図ることが、現実には即したやり方だと思ふ。

五月臨時会で

決まったおもなもの

- ▽昭和四十六年度予算
一般会計 七四億二九六万円
普通特別会計 四七億七八〇万円
企業会計 一九億五八三万円
- ▽事務分掌条例の一部改正
新たに公害対策局を設け、現行の失業対策局を失業対策室に改めるもの
- ▽災害弔慰金および見舞金に関する条例の一部改正
見舞金の支給範囲を改めるもの
- ▽国民健康保険条例の一部改正
高齢被保険者の医療費を助成し、および地方税法等の一部改正に伴い保険料の減額の算定の特例を定めるもの
- ▽市立地方改善施設条例の一部改正
小倉区白萩町集会所を設置するもの
- ▽市立朝日ヶ丘病院条例の一部改正
同病院の使用料のうち、患者の給食費を無料にするもの
- ▽住宅改修資金貸付条例の一部改正
貸付限度額を改めるもの
- ▽病院事業の設置等に関する条例の一部改正
療養所統合等に伴い、経営の基本について一部を変更する必要があるため
- ▽港町ポンプ場ポンプ設備工事請負契約の締結ほか七件
- ▽契約金額合計 八億四七〇万円
- ▽交通事業財政再建計画の一部変更
- ▽病院事業財政再建計画の一部変更

常任委員会委員					
◎委員長 ○副委員長					
総務財政委員会 (11人)	民生水道委員会 (11人)	公害衛生委員会 (10人)	経済消防委員会 (11人) 欠員1人	建設交通委員会 (11人)	文教建築委員会 (10人)
◎中 島 武 ○新井勝美 大野松次 木下憲定 重田幸吉 明石清彦 城戸武夫 吉田照雄 安増一好 鍛治清 陣矢博文	◎比恵島重光 ○木村好夫 岡山省司 佐々木 亀 加来 茂 吉田浩明 増田哲夫 田中 巖 西田米生 浅井庫衛 田中 覚	◎安 田 富彦 ○服部嘉夫 吉尾 計 山本岱輔 大庭 勇 松尾 武 花田武人 本莊光宏 谷口義光 古賀清治	◎牧 一 生 ○谷岡光次 近松資憲 山脇 昭 木村 証 松本静夫 天野志津雄 塚内浩之 田川長佳 白石照義	◎岡 田 義信 ○鷹木行雄 渡辺讓治 古賀政吉 山内 勝 上田忠義 河内定一 坂田 隆 上野博郷 柳田国憲 久保利男	◎岩尾四十三郎 ○井上寿昭 蔵野ツシ 安藤正之 坂田シゲヨ 平山政智 権堂義幸 野村一郎 樋上静雄 那波公明

特別委員会委員				
◎委員長 ○副委員長				
大都市税財政制度 確立特別委員会 (11人)	鉦 害 对 策 会 特 別 委 員 会 (13人)	行 政 区 調 査 会 特 別 委 員 会 (13人)	港 湾 对 策 会 特 別 委 員 会 (13人)	都 市 交 通 对 策 会 特 別 委 員 会 (13人)
◎天 野 志津雄 ○大野松次 蔵野ツシ 山本岱輔 大庭 勇 坂田シゲヨ 城戸武夫 安増一好 柳田国憲 陣矢博文 那波公明	◎加来 茂 ○渡辺讓治 安田富彦 重田幸吉 鷹木行雄 松尾 武 上田忠義 花田武人 吉田照雄 坂田 隆 浅井庫衛 田川長佳 古賀清治	◎古賀政吉 ○岡山省司 山脇 昭 明石清彦 吉田浩明 木村 証 松本静夫 田中 巖 牧 一 生 塚内浩之 服部嘉夫 鍛治清 比恵島重光	◎野村一郎 ○田中 覚 近松資憲 安藤正之 中島 武 山内 勝 平山政智 増田哲夫 河内定一 本莊光宏 上野博郷 岡田 義信 新井 勝美	◎久保利男 ○吉尾 計 木下憲定 佐々木 亀 木村好夫 谷岡光次 権堂義幸 岩尾四十三郎 西田米生 谷口義光 樋上静雄 井上寿昭 白石照義

助 役

収入役

教育委員会委員

松浦正晴
松浦功
波多野一治
金井松廣
中島敬二
五郎丸 勝

人事委員会委員

川崎正治
筒井義彦
直方市・北九州市岡森用水組合
議会議員

笹尾川水利組合議会議員

近松資憲
服部嘉夫
農業委員会委員
門司区農業委員会委員

中島 武
牧 一 生
柳田国憲
久保利男
小倉区農業委員会委員

権堂義幸
上野博郷
古賀政吉
八幡区農業委員会委員

加来 茂
浅井庫衛
比恵島重光
戸畑区農業委員会委員

岡山省司
天野志津雄
岡田義信

□全世帯配布

□編集

北九州市議会事務局

□印刷

門司印刷株式会社(門司区)